

I 東通村教育施策の方針

教育：人の可能性を引き出すこと

何かを教える、型にはめるのではなく、持っている可能性をその人の力で開かせる、そのためのサポートが教育である。

《教育理念》「命と心、確かな学び、自分開発力」

命と心

一人ひとりがかげがえのない存在であることを尊重し合い、自分のよさや可能性を知り、多様な価値観を認め、相手の立場を思いやり大切にできる豊かな心、大きな視野で社会やものごとをとらえることのできる心のゆとりや社会性を育てます。

確かな学び

社会の中で生きていくために必要となる、自ら問題を発見し、試行錯誤しながら、新たな価値を創造していくことができる力や、自ら学び、他者と協働しながら、学んだことを社会で生かすことのできる幅広い学力の確かな形成に努めます。

自分開発力

自分のよさや個性、可能性を発揮し、自分を鍛え、夢の実現に向けて多様な選択ができる誰一人取り残すことのない教育を推進します。また、先人から受け継いだ自然・歴史・地域文化を学び、未来の文化を創造できる教育を推進します。

東通村学校教育全体構想図

日進

学業・スポーツなど、物事を成し遂げるにあたっては、毎日少しずつ順序を追って進んでいくことが貴い、一步一步確実に、それぞれの個性を伸ばして、理想に向かってたくましく生きる力を身につけてほしい。

東通村教育施策をふまえた **※こ小中一貫教育**
※こども園・小学校・中学校一貫教育「以降、一貫教育」

推進のための視点

- 「学び」と「育ち」の連続性を重視して
- 教職員の指導力（授業力、生徒指導力）を向上させて
- 家庭・こども園・小学校・中学校・地域・関係機関との連携を深めて

感謝

人は、自分だけで生きているのではない、人間社会の関わりの中で、また、自然界の一員として、生かされていることを忘れてはならない、感謝の心をもって、人に接するとともに、万物を大切にしてほしい。



東通学園《校訓》

日進

感謝

【教育目標】 知性を磨き、豊かな心をはぐくみ、自主自立をめざす子どもの育成

こども園ひがしどおり

東通小学校

東通中学校

生きる力の基礎となる資質・能力の3つの柱(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等)を育むために

■知識・技能の基礎

(文字・言葉・数・数量関係・図形等とふれあう遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり何ができるようになるか。)

■思考力・判断力・表現力等の基礎

(身近な事象から気付き・考え・工夫する遊びや生活の中で、気づいたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか。)

■学びに向かう力・人間性等

(やり遂げる達成感を味わうことができる活動をする中で、いかによりよい生活を営むか。)

■知識・技能の習得

【何を理解しているか、何ができるか】

各教科等の学習において、児童生徒の学びへの興味を高めつつ、しっかりと教授するとともに、深い理解を伴う知識・技能の習得につながるよう、知識・技能を活用して思考させる指導を充実させていく。

■思考力・判断力・表現力等の育成

【理解していることやできることをどう使うか】

各教科等の学習において、児童生徒が習得した「知識・技能」を活用させながら、課題を解決させる指導を充実させていく。
 「知識・技能を活用して課題を解決する」という過程については、各教科等の特性や児童生徒の発達の段階に応じて、指導の工夫・改善を充実させていく。

■学びに向かう力・人間性等の寛容

【どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか】

各教科等の学習や体験活動等において、学んだことの意義を実感できるような学習活動を充実させていく。

★幼保小の架け橋プログラムは、こども園・小学校・指導課がチームとなって作成・検証をおこなう。

★東通ステップアッププログラムは、小学校・中学校・指導課がチームとなって作成・検証を行う。